

## No title available

**Publication number:** JP57183945 (U)

**Publication date:** 1982-11-22

**Inventor(s):**

**Applicant(s):**

**Classification:**

- international: A47L9/00; A47L9/32; A47L9/00; A47L9/32; (IPC1-7): A47L9/00; A47L9/32

- European:

**Application number:** JP19810071237U 19810515

**Priority number(s):** JP19810071237U 19810515

Abstract not available for **JP 57183945 (U)**

---

Data supplied from the **esp@cenet** database — Worldwide

公開実用 昭和57— 183945



(¥ 4,000.-)

実用新案登録願(4)後記号なし

昭和56年5月25日

特許庁長官

1. 考案の名称 テンキソウジマキ

2. 考案者

住所 守口市京阪本通2丁目18番地

三洋電機株式会社内

氏名 斎藤克彦

3. 實用新案登録出願人

住所 守口市京阪本通2丁目18番地

名称 (188) 三洋電機株式会社

代表者 井植萬

4. 代理人

住所 守口市京阪本通2丁目18番地

三洋電機株式会社内

氏名 井理士(8550) 佐野静大

連絡先: 電話(東京)03-5511-1111 各種センター駐在 錦田

✓ 56 07/237



388

木田

本多  
文書  
183945

5. 添付書類の目録

✓ (1) 明細書	1通
✓ (2) 図面	1通
(3) 頼書副本	1通
✓ (4) 委任状	1通



394

183945-

## 明細書

## 1. 考案の名称 電気掃除機

## 2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 前車輪と後車輪を有した上面開口の本体ケースと、該ケースに収納される電動送風機及び集塵フィルターと、前記本体ケースの前部に形成される吸気口と、該吸気口の上部に設置したハンドルと、前記吸気口に接続される可撓性ホースと、前記本体ケースのハンドル近傍にて一端が回動係止され他端がケース後部に着脱自在に係合されるカバーと、該カバー後方に突出する突起とを備え、前記可撓性ホースを前記ハンドル端部と突起間にて巻回保持してなることを特徴とする電気掃除機。

## 3. 考案の詳細な説明

本案は前後車輪を有し上面開口の本体ケースに電動送風機及び集塵フィルターを収納すると共に前記本体ケースの上面開口を着脱自在のカバーにより被覆するようにした電気掃除機に関するもので、特に本体ケースの前記吸気口に接続した長寸の可撓性ホースを簡単に収納することを目的とす

る。

以下本案を図に示す実施例について説明する。

(1)は下部に前車輪(2)と一対の後車輪(3)(3)を有した上面開口の本体ケースで該ケースには集塵フィルター(4)及び電動送風機(5)が配置収納されている。

(6)は前記本体ケース(1)の上面開口を開閉するカバーで該カバーの前端は本体ケース(1)に蝶番(7)(7)により回動係止すると共に後端はフック(8)により保持される。(9)は本体ケース(1)の前部に形成した吸気口(10)に接続した可撓性吸込ホース、(11)は前記吸気口(10)の上部の本体ケース(1)の前部に設けたハンドルで該ハンドルは前記本体ケース(1)の横巾と略同様で両端にはホース引掛部(12)(12)を形成している。

而して(13)は前記カバー(6)の後端面に突出して形成した突起部で該突起部と前記ハンドル(11)の両端に形成したホース引掛部(12)(12)との間に可撓性吸込ホース(9)が巻回保持されている。

前記突起部(13)は可撓性の吸込ホース(9)のフックとして機能するだけでなく、カバー(6)を開放する際のツマミともなり又本体ケース(1)を後面を下に

して立てた時一对の後車輪(3)(3)と突起部(4)の先端の3ヶ所で支持する支持脚にも用いられる。

次に上記の構成において可撓性吸込ホース(8)を巻回保持するには、まず前記ホース(9)の一端部を本体ケース(1)の前部吸気口(4)に接続し、ハンドル(11)の一端ホース引掛け部(10)に引掛け、カバー(6)の上面に添わせて前記カバー(6)の後面部にまわして突起部(4)に係止し、再びカバー(6)の上面に持ち上げ、ハンドル(11)の他端ホース引掛け部(10)で持<sup>保持</sup>する。

またカバー(6)はホース(9)を巻回保持したまゝで開放できるために集塵フィルター(4)のごみ捨ても容易に行うことができる。更にカバー(6)を開放したまゝでハンドル(11)を持ち上げたり、後面を下にして立てるとき前記カバー(6)は重力により閉止する。しかも可撓性吸込ホース(8)をカバー(6)の突起部(4)と本体ケース(1)のハンドル(11)の間に巻回保持した状態で前記本体ケース(1)にカバー(6)を係止するとホースの支持形状が変わり本体ケース(1)に引っ張られ氣味にきっちり収納される。

本案による電気掃除機は上述の如く、前車輪と

二字抹消



二字印正



後車輪を有した上面開口の本体ケースと、該ケースに収納される電動送風機及び集塵フィルターと、前記本体ケースの前部に形成される吸気口と、該吸気口の上部に実設したハンドルと、前記吸気口に接続される可撓性ホースと、前記本体ケースのハンドル近傍にて一端が回動係止され他端がケース後部に着脱自在に係合されるカバーと、該カバー後方に突出する突起とを備え、前記可撓性ホースを前記ハンドル端部と突起間にて巻回保持してなるものであるから、可撓性ホースの巻付け保持が簡単に行なうことが出来ると共にホースも引っ張られ気味にきっちりと収納される。またホースを巻回した状態でカバーを開放するため集塵フィルターのごみ捨ても容易となりしかもハンドルを持ち上げればカバーは重力により自動的に本体ケースに結合して閉止される。

更にカバーの後面部の突起はホースを係止するだけでなくツマミ及び支持脚としても機能するものであり使用性が向上する。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は本案電気掃除機の立設時の側面図と正面図、第3図はカバーを開いた場合の側面図である。

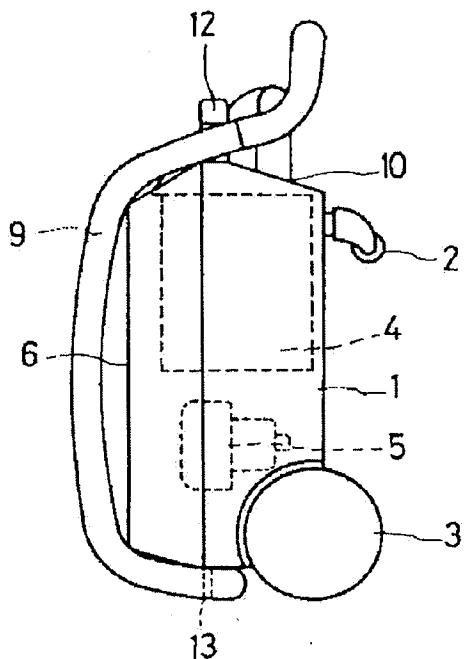
(1)…本体ケース、(6)…カバー、(11)…ハンドル、(9)…可撓性吸込ホース、(13)…突起部

出願人 三洋電機株式会社

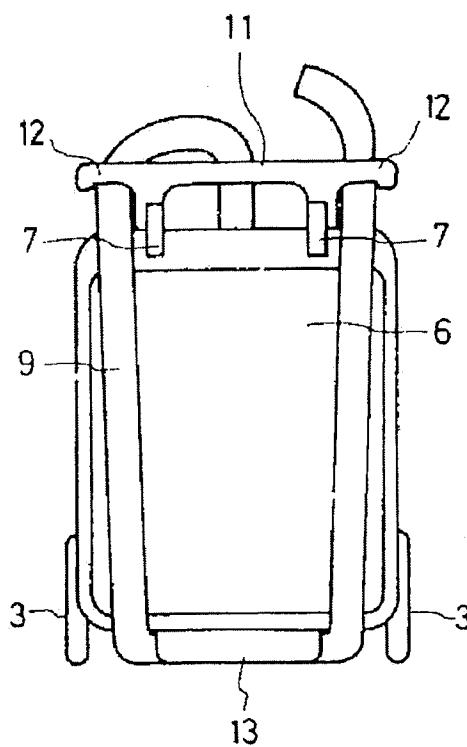
代理人 弁理士 佐野静夫



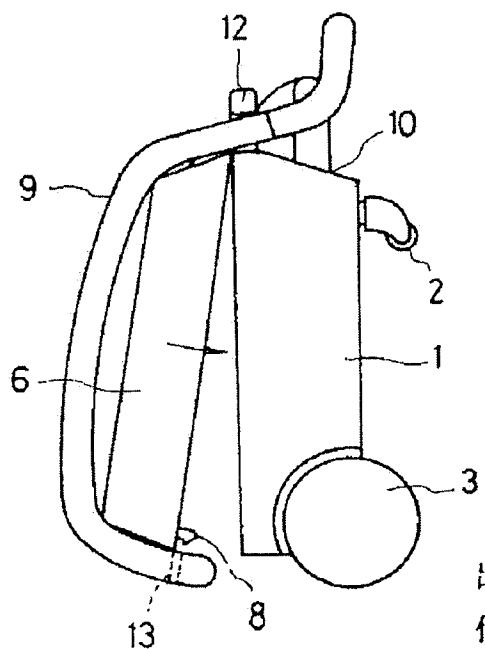
第1図



第2図



第3図



393

出願人 三洋電機株式会社  
代理人 弁理士 佐野静夫

183945